

地域みんなで認知症の方を守りましょう

認知症による行方不明者数は2016年に1万5000人を超えました。2023年に1万9000人台となり、2024年には約1万8000人に減りましたが、多くの方が不明となっています。行方不明となり亡くなった方のうち半数が家族や警察だけでは発見が困難な河川・河川敷・用水路・側溝・山林で発見されました。早期の発見と認知症への理解が救命につながります。地域の皆様のご協力をお願いします。



**徘徊している方をみかけたら
保護し警察に通報を**

車道や危険なところを歩いている人や、服装が状況に合っていない人、異変を感じる人を見かけた場合は、迷わずに警察に通報をお願いします。



GPS機器を携帯しましょう

GPSタグやスマートフォンを身に付けておくことが発見につながります。靴や杖にGPSタグを取り付け、早期に発見された例もあります。



**認知症サポーター養成講座
を受講してみませんか**

認知症サポーターは認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けをします。

認知症について理解を深めたい方はお住まいの自治体にお問い合わせください。

「安全・安心の街に」 YC 読売センターは地域の防犯活動を推進しています

こども110番 YCは「こども110番の店」として活動しています	不審者注意 配達・集金の際、不審者に注意します	防犯情報発信 警察署の協力を得て防犯チラシなどを配布します	見守り活動 地域の見守りを推進しています	～マジックで ダマシ撃退！～ 学校や地域でのセーフティ教室開催のお手伝い
---	--	--	---	---

YC あなたの街の読売センターからお届けしています

読売新聞オンラインは **購読料 + 0円**

読者会員登録がまだの方は **こちらから「カンタン登録」**



発行／全国読売防犯協会
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞東京本社販売局 販売企画調査部内
TEL.03-3216-9024
2512/1300M



だまされないで!!

● 高齢者を守る安全対策 ●

発行／全国読売防犯協会 協力／警察庁

**犯人は次々と新しいだましの方法であなたを狙っています。
電話やインターネットでお金の話があったら詐欺を疑って!**



見えない・知らない相手とのやりとりはしない

SNSなどインターネット上の「もうけ話」「甘い誘惑」に手を出さない



国際電話番号は拒否

**番号表示と登録番号以外の着信を拒否する
発着信を止める手続きをする**

- ・留守番電話を設定する
- ・国際電話の発着信を止める手続きをする

**国際電話不取扱受付センター
0120-210-364**

詳しくは **↑** で検索

※YCなどに連絡されても対応いたしかねます

YC 読売センターは地域の防犯活動に取り組んでいます

特殊詐欺 特殊詐欺の主な手口として、オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、ニセ警察詐欺が増えています。

- 自宅の固定電話や携帯電話あてに国際電話(「+(国番号)」や桁数が多い番号など)から電話があった
- 自動アナウンスで「2時間後に電話が止まる」「問い合わせは『1』を押して」などが流れた
- 電話会社や金融機関を名乗る者に電話がつながり、「警察に転送します」と言われた
- 電話を替わった警察官を名乗る者から、身に覚えのない犯罪への関与を疑われ、「逮捕する」と言われた
- 「取り調べをする」などと言われ、SNSのやり取りとビデオ通話をするよう指示された
- SNSのメッセージやビデオ通話で「警察手帳」や「逮捕状」、「差押許可状」のようなものを見せられた
- 「守秘義務がある」「他の警察官にも秘密」などと言われ、家族や地元警察への相談を禁止された
- 「資産を一か所にまとめて」などと言われ、インターネットバンキングの口座開設を指示された
- 「共犯者を調べる」などと言われ、常にビデオ通話の継続や決まった時間に毎日連絡をするよう指示された
- 「犯人からの入金がないか調べる」などと言われ、指定された口座への送金を指示された
- 暗号資産の購入・送金や金塊を購入して送付するよう指示された
- 「犯人は身体に入れ墨があった」などと言って、ビデオ通話中に服を脱ぐよう指示された



ひとつでも当てはまる場合、怪しいなと思った時は、相手方からかかってきた番号や教えられた番号の電話には、絶対に折り返さず、いったん電話やビデオ通話を切り、**警察相談専用電話(＃9110)**や対面で最寄りの警察署に相談しましょう。

詐欺対策には『国際電話の利用休止』が有効です

固定電話の手続きはこちら
 国際電話不取扱受付センター
 0120-210-364
 ※YCなどに連絡されても対応いたしかねます

【ポイント】 ホンモノの警察官は…

- 電話で事件捜査の対象となっているなど伝えることはありません
- メッセージアプリで連絡をすることはありません
- 個人のスマートフォンにビデオ電話をすることはありません
- 警察手帳や逮捕状の画像を送ることはありません
- 捜査などの名目で金銭を要求したりすることはありません

送金等の指示を受けた!

SNS型投資・ロマンス詐欺

- SNS、動画サイト、投資サイトなどに掲載されていた広告や、ダイレクトメッセージを通じてSNSに招待され、投資に関するグループトークに参加した
- マッチングアプリで知り合った相手から、「2人の将来のために投資をしよう」と勧められ、SNSの投資に関するグループトークや「知人の投資家」を紹介された
- グループトークに、投資家、経済学者、著名人などと、そのアシスタントを名乗るメンバーがいた
- 値上がりする株の銘柄や売買についてのアドバイスを受け、投資を促された
- グループトークに参加している他のメンバーは、大きな利益を得ている様子を投稿していた
- アシスタントなどから「投資アプリ」のダウンロードを指示された
- インターネットバンキングの口座開設を指示された
- 「投資アプリ」を見ると、入金した額に応じて大きく利益が出ている様子が確認できた
- アシスタントを名乗るメンバーなどから「さらなる利益を得るため」と言われ、追加の入金を指示された
- 出金しようとしたら、「手数料」や「違約金」の送金が必要と言われた

ひとつでも当てはまる場合、詐欺の可能性あります。怪しいと思ったらすぐに身近な人、最寄りの交番、警察署などに通報、相談しましょう。

【ポイント】

- 『直接会ったことのない相手』から『投資の話』をされたら詐欺です
- ローリスク・ハイリターン投資はありえません。『必ずもうかる投資』は詐欺です
- 実際に会ったことのない相手から「二人の将来のため」「投資でお金を増やそう」などの話をされたら要注意
- マッチングアプリなどで知り合った後、SNSで投資に関するグループトークなどに誘導されたら要注意

